

重点目標一覧表

【平成28年度重点目標】

【平成29年度重点目標】

重点目標	真田の郷おもてなし態勢の充実	重点目標	真田に暮らす誇りと生きがいを感じる住民自治体制の確立	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）		具体的な重点取組項目（箇条書き）	
1	<p>真田の郷周遊観光バスの運行 真田氏歴史館特別展等開催 （1）「真田丸」をテーマに特別展の開催 （2）真田氏ゆかりの地紹介映像制作 真田まつりの開催 ・NHK大河ドラマ及び上田市合併10周年を記念したまつりの開催 合併10周年記念事業への支援・協力 （1）御屋敷つつじまつりへの支援・協力 （2）高橋まゆみ人形展への支援・協力 真田氏を学ぶ講座開催 地域との協働による案内板等整備</p>	<p>達成状況・達成度 4月～11月、126日間に1,890便 (平均乗客数10.8人/便) 運行利用者延べ20,465人 5月21日～9月30日開催し、観覧者64,665人 (2)ゆかりの地（5か所）紹介映像を制作 NHK大河ドラマ放送及び上田市合併10周年記念 ・来場者約12,000人 合併10周年記念事業への支援・協力により (1)来場者4,500人、(2)来場者11,123人 真田丸関連の公民館講座を2講座開催 (7月2日参加者120人・12月18日参加者400人) 管理団体との連携により案内説明板を整備(6月末完了)</p>	<p>新たな住民自治体制の確立に向けた啓発活動 (1)地域内の合意形成に向けた懇談会等の開催 (2)「準備会だより」等による情報提供 住民自治組織の設立 住民自治組織の活動の方向づけ (1)活動体制の整備支援 (2)地域まちづくり計画の策定支援 (3)事業内容等の検討・協議</p>	<p>期限・数値目標等 (1)懇談会等を開催し、住民自治組織の必要性の周知・理解を図る (2)5月に「準備会だより」を全戸配布 以後、情報提供による啓発活動を通年実施 年内の設立 (1)人員体制の整備、必要物品等の調達 (2)計画策定の支援 (3)次年度以降の活動内容等決定</p>
2	<p>地域経営会議「真田まちづくり準備会」における調査、検討 ・地域の課題の把握と解決策の検討、先進地視察 地域住民への周知、意見把握 ・地域づくり委員会、関係団体との懇談会、セクターだより等による情報提供 住民自治組織設立の方向づけ ・タウンミーティングの開催、住民自治組織の枠組み案の検討、 地域まちづくり計画案の策定</p>	<p>達成状況・達成度 5月から3月にかけて準備会を計16回開催し、新たな 住民自治の仕組みづくりを検討 また、9月に住民自治組織の先進地視察の実施 地域づくり委員会、真田地域自治会連合会での 周知及びセクターだより等による情報提供(10回) 12月21日に住民懇談会を実施。今後も準備会の協議 内容（規約、体制等）を踏まえ地域内の合意形成を 進め、平成29年度前半までに住民自治組織を設立予定</p>	<p>菅平高原スポーツリゾート地の整備促進 菅平地区振興施設整備の推進 (1)整備スケジュールに沿って着実な進捗を図る (2)管理運営に係る庁内及び関係機関との調整 植生環境保全に向けた実証実験等の実施及びまとめと検証 ラグビーワールドカップやオリンピックのキャンプ地誘致に向けた環境整備 ・サニアパークの環境整備 スポーツツーリズム推進事業による誘客活動への支援</p>	<p>期限・数値目標等 (1)建築主体工事の進捗を図る 附帯工事及び外構工事の発注 (2)施設の運営体制や利用料金等について 検討 年度末までに実証実験結果をまとめ検証 11月までにグラウンド等の整備 地方創生推進交付金を活用した支援</p>
3	<p>菅平地区振興施設整備事業の推進 (1)地元建設委員会を設立し、調整を図る (2)施設の調査、設計及び工事着手 菅平高原植生環境保全に向けた実証実験等の実施</p>	<p>地元建設委員会を設立し、事業の協議・調整 を図り、地質調査及び実施設計が完了後、工事 管理業務委託、建築主体・電気設備・機械設備 工事に着手 モニタリング調査を実施し、植生回復の状況 を検証。また公募によるササ刈りを実施</p>	<p>真田の郷周遊観光バスの運行 真田氏歴史館での企画展の開催 ・山家神社に伝わる真田氏ゆかりの品の企画展を開催 真田まつりの開催 ・「真田の郷」の郷土愛と人とのつながりを醸成・発信するまつりを開催 真田氏関連の歴史講座の開催</p>	<p>4月～11月の間運行、利用者延2,800人 7月～10月の開催、企画展中の入館者数8,000 人 8月11日開催、来場者数8,500人 年度内に1講座開催</p>
4	<p>自主防災組織の育成 (1)自主防災組織リーダー研修会・先進地視察の実施 (2)災害ハザードマップの利活用の促進 防災訓練の実施 (1)重点地区における防災訓練の実施 (2)重点地区以外では、自治会単位での防災訓練の実施 (3)有線放送の伝達情報の即時性を活用した防災訓練の実施 災害時要援護者登録制度を活用した支援の充実 (1)自治会における防災訓練及び日頃の支援活動への活用の働きかけ (2)自治会における台帳作成の支援に関する働きかけ (3)更新作業の実施により、リスト及びマップの見直し</p>	<p>(1)5月19日に研修会を開催し、31自治会が参加 5月27日・28日には、自主防災組織リーダーを 対象とした中越地震被災施設の視察研修実施 (1)9月3日に傍陽地区を重点地区とし、509人 の参加により傍陽小学校を会場として実施 (2)36自治会中、24自治会で実施 (3)非常伝達訓練及び参加啓発に有線放送を活用 (1)(2)自治会長へ5回、民生児童委員へ6回、 福祉推進委員等へ1回働きかけの実施 (3)全自治会で更新作業の実施、先進地視察、 自治会長等へのアンケートの実施</p>	<p>自主防災組織の育成 (1)自主防災組織リーダー研修会の実施 (2)総合ハザードマップの利活用促進 防災訓練の実施 (1)重点地区における防災訓練の実施 (2)重点地区以外での、自治会単位による防災訓練の実施 (3)有線放送による伝達情報の即時性を活用した防災訓練の実施 災害時要援護者登録制度を活用した支援の充実 (1)自治会長、民生委員等への制度の周知及び防災訓練等への活用の働きかけ (2)自治会支援班における連携の働きかけ (3)更新作業の実施</p>	<p>(1)6月までに36自主防災組織を対象に実施 (2)6月までに総合ハザードマップを利用した 研修会の実施 (1)9月に本原地区で実施 (2)11月までに各自治会で実施 (3)各種防災訓練で有線放送を活用 (1)(2)自治会長、民生委員への説明会を4 回、合同会議を2回実施 (3)全自治会で更新作業を実施</p>
5	<p>利用促進に向けた広報活動 ・地域住民への広報活動、地域内事業所訪問によるPR活動 バス利用促進イベントの開催 ・真田地域公共交通利用促進協議会主催により、関係機関の協力を得て 各種イベントの実地 真田地域公共交通利用促進協議会の運営 ・役員会及び総会の開催、利用促進に向けた調査、研究</p>	<p>全36自治会の地域づくり委員会、市内高校の PTA等へチラシを配布し路線バス利用の呼びかけ また、地域内事業所を訪問しバス利用促進をPR 計画したイベントは全て実施 ・園児が描いた絵を車内に展示する「七夕バス」 と併せ、園児83名の乗車体験を実施 ・年2回、回数券/定期券特別販売企画 (利用者：9月390名、3月は実施中)など 7月5日に総会を開催し、役員会は3回開催 また、役員会において、バスの乗り方教室 を効率よく実施できるよう開催時期等を検討</p>	<p>公共交通の利用促進に向けたPR活動 ・地域住民や地域内事業所訪問による広報活動 バス利用促進のための各種イベントの開催 ・真田地域公共交通利用促進協議会の主催による、関係機関と連携した各種イ ベントの開催 真田地域公共交通利用促進協議会の運営 ・役員会及び総会の開催 ・利用促進に向けた調査、研究</p>	<p>地域づくり委員会や自治会連絡会議等へ利用 促進を呼びかける。また、地域内の各事業所を 訪問しPRを行う 利用促進のための各種イベントを7月から随 時開催する 総会を7月、役員会は随時開催する</p>

評価基準 [] : 目標を上回る達成 [] : 目標どおり達成 [] : 目標未達成の部分あり [x] : 全て目標未達成

市長指示事項	市長指示事項
<p>・菅平の振興施設については、財源を含め、地域との合意形成しながら確実に事業を進めること。・地域公共交通は、促進協議会や 住民主体の活動へサポートしながら取り組むこと。</p>	<p>・住民自治組織について、定着が図られるようフォローすること。・菅平高原スポーツリゾート地の整備促進は着実に取り組むこ と。・公共交通の利用者が減少しないよう引き続き利用促進に取り組むこと。</p>